

アトラジン水和剤 ゲザプリムフロアブル	取扱メーカー： シンジェンタ 原体メーカー： シンジェンタ
成分： アトラジン〔トリアジン系 PRTR・1種〕……………45.0% その他 PRTR 該当成分： 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩〔PRTR・1種〕……………2.5%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- 一年生雑草を対象として、土壌処理、あるいは雑草の生育初期に接触殺草性を生かして生育期処理として使用できる。
- トウモロコシ、ソルガムなどには本質的な選択性がある。
- 選択性：感受性雑草…畑作一年生雑草全般、ツユクサには特に土壌処理で効果が大きい。
- 体内移行性：主として雑草の根部、一部は茎葉部からも吸収され、上方へ移行して葉に達する。
- 土壌移行性：中程度で、温度による変動は少なく、土壌の乾湿にあまり影響されない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 茎葉部からの吸収も一部みられ、幼少雑草に対しても効果を発揮するが、雑草の発芽直前から発芽揃期までの散布が最も効果が高いので、できるだけ早めに散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- イネ科雑草には効果が不十分な場合があるので、それらの優占する圃場での使用はさける。
- は種覆土は丁寧に行い、覆土深は3 cm程度にする。
- 砂土、水はけのよい土壌では薬害を生じるおそれがあるので使用しない。また雨の多い時期、場所での使用はさける。
- 処理後、短期間内に後作物を作付けする場合には、あらかじめ発芽試験を行うなど安全性を確認する。
- 適用作物（とうもろこし、飼料用とうもろこし）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（広葉植物）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】……………

作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	アトラジンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
とうもろこし 飼料用とうもろこし ヤングコーン	一年生雑草	砂土を除く 全土壌	は種後～ とうもろこし 2～4 葉期まで	100～ 200 ml	50～ 100 ℓ	1 回	全面土 壌散布 及び雑 草茎葉 散布	1 回
ソ ル ガ ム	一年生広葉 雑草		は種後 雑草 発生前～始期	100 ℓ				
は と む ぎ	一年生雑草		は種後～出芽前 (雑草発生前)	200 ml	全面土 壌散布			